

製品名: MTA1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14198**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	MTA1
別名	MTA1; Metastasis-associated protein MTA1
遺伝子 ID	9112.0
SwissProt ID	Q13330
免疫原	抗血清はヒト MTA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

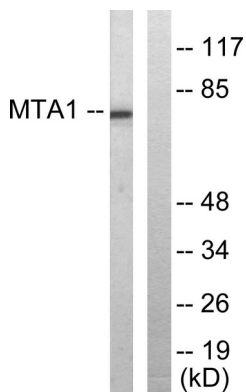
この遺伝子は、転移細胞、特に乳癌細胞株で発現する遺伝子のスクリーニングにおいて同定されたタンパク質をコードしています。この遺伝子の発現は、少なくとも2種類の癌の転移能と相関関係にあることが報告されていますが、多くの正常組織でも発現し

ています。転移におけるこの遺伝子の役割は不明です。当初はヌクレオソームリモデリング脱アセチル化酵素複合体 NuRD の 70kD 成分であると考えられていましたが、この成分は異なるが非常に類似したタンパク質である可能性が高いです。しかし、これら 2 つのタンパク質は非常に密接に関連しており、同じ種類のドメインを共有しています。これらのドメインには、2 つの DNA 結合ドメイン、二量体化ドメイン、そして DNA メチル化タンパク質に一般的に見られるドメインが含まれます。この遺伝子産物のプロファイルと活性は、転写制御に関与し、これは分化段階によって達成される可能性があることを示唆しています。機能: ヒストンタンパク質の共有結合修飾による遺伝子発現制御に関与している可能性があります。ロングアイソフォームはエストロゲン受容体 (ER) のコリプレッサーです。ショートアイソフォームは ER に結合し、ER を細胞質内に隔離することで、ER の非ゲノム応答を増強します。、その他: ショートアイソフォームは、Leu-Arg-Ile-Leu-Leu モチーフ (ER 結合モチーフ) を含みます。、類似性: BAH ドメインを 1 つ含みます。、類似性: ELM2 ドメインを 1 つ含みます。、類似性: GATA 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。、類似性: SANT ドメインを 1 つ含みます。、サブユニット: ヌクレオソームリモデリングおよびヒストン脱アセチル化酵素多タンパク質複合体 (NuRD) の構成要素です。HDAC1 および ITGB3BP/CENPR と相互作用します。、組織特異性: 広く発現しています。脳、卵巣、副腎、および未分化乳腺で高い発現が見られます。同じ個人の隣接する正常組織よりも腫瘍の方が高い。

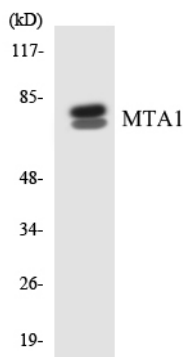
研究分野

-

画像データ



MTA1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MTA1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。